近畿大学　21世紀を生きる国際理解セミナー

近代化遺産
その社会的役割と展望

近年、わが国においては、古い土木構造物や産業施設を「歴史的遺産」として価値づけする機運が高まっています。
近代化遺産は各地の住民あるいは自治体によって、
まちづくりの中核となるべき地域資産あるいは観光資源としての活用にも大きな注目が集まり、
全国各地においてさまざまな活用プロジェクトが展開されています。
今回、産業考古学の発祥国であり先駆的研究「ヘリテージ・スタディ」の第一人者、
イギリス・ケンブリッジ大学のマリールイーズ・ソレンセン准教授をお招きし、
さらに、台湾や日本の若手研究者・実務家が参集し、日本の近代化遺産の可能性と課題について議論していただきます。

主催:近畿大学国際交流委員会

Forth Bridge : Scotland
Photo by Masaaki OKADA

セミナープログラム

■オープニングスピーチ

近畿大学理工学部
岡田 昌彰 准教授

■基調講演

近代化遺産の面白さ
ヘリテージスタディの地平と
近代化遺産の可能性

ケンブリッジ大学マクドナルド研究所
マリールイーズ・ソレンセン 准教授

■パネルディスカッション

マリールイーズ・ソレンセン 准教授

台湾中原大学
林 曉薇（リン シャオ ウェイ）助教授

札幌国際大学
吉岡 宏高 教授

大阪市立芸術創造館
小原 啓渡 館長

コーディネーター：岡田 昌彰
同時通訳：小川 裕見子さん
（大阪府教育委員会）

とき　2012 9/15 土　13:00▸16:30

ところ　近畿大学 19-2教室

●お問い合わせ先　〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1（近鉄大阪線長瀬駅下車徒歩約10分）
近畿大学国際交流室　TEL（06）6721-2332（内線2862）
岡田昌彰・理工学部 社会環境工学科准教授　（内線4674）
E-mail:kindaikeikan@yahoo.co.jp

近畿大学
KINKI UNIVERSITY